

今こそ
若い力で
新しい習志野。

Report

関根ひろゆき

No
60

令和六年第二回定例会
市政報告

習志野市次期基本構想について

Q: 基本構想は現在法令上の策定義務はないが、今回策定する意義について伺う。

A: 本市の長期ビジョンを市民に示すことは、市の責務であり、市民や地域、関係団体等とビジョンを共有することにより安定かつ円滑な市政運営が期待できることから策定する。

Q: 現段階での習志野市の課題について伺う。

A: 全国的にも人口減少や少子超高齢化社会、多様化社会におけるニーズの対応等が求められている。また、社会保障費をはじめとした経常的な経費の増加や公共施設の老朽化・安全対策など多額の予算を必要とする事業が見込まれる。
今後、行政評価や基礎調査を通して本市の課題をさらに分析していく。

要望: 次期基本構想は本市の未来を担う重要な構想になる。

全国的にも消滅可能性自治体の発表や、合計特殊出生率が過去最低を記録するなど深刻な問題が散見している。

人口減少、多様化がますます進んでいく中、山積する問題をどのように解決し、選ばれるまちづくり、近隣市とは一線を画した習志野市独自の特色あるまちづくりを進めていく必要性を今後強く感じている。

首都圏に近接している利便性を活かし、子育て・教育に特化したまちづくり、また起業創業のまち習志野としてのまちづくりをしていくことが習志野市に合致した方針だと考える。基礎調査を通して多くの市民の意見に耳を傾けるだけではなく、行政に精通している本市職員の声も多く聴取していただくように要望する。

「選択と集中」を意識し、既存事業の見直しはもとより、投資が必要な時には大胆に投資する。投資を行わなければ、人もまちも成長をしない。

まちづくりへの適切な投資を行っていただくように重ねて要望する。



JR津田沼駅南口再開発事業の進捗

52階、ファミリータイプ960戸、単身用と合わせて合計1100戸が想定をされるタワーマンションに入居をする児童は現在のところ向山小学校への通学を予定しており、最大30教室まで拡大を出来るとの事です。

市民に対する説明会も野村不動産株式会社からは、8月3、4日に予定をされております。総事業費は昨年四月時点では1400億円。本市負担分が140億円でしたが、物価高騰の影響によって総事業費は1620億円。本市負担分が150億円と約10億円の負担増となっております。引き続き情勢を注視するとともに、特定財源となる国の補助金を確実に得るべく計画の策定に向けて、千葉県及び国と協議を行っていく必要性があります。

文化の殿堂 // にぎわいの拠点 // 津田沼駅南口の再開発が始動します!

JR津田沼駅前の「津田沼駅南口地区」では、習志野市の玄関口としてふさわしい魅力あるまちづくりを推進するため、市街地再開発事業の協議・検討を進めています。文化とにぎわいの発信拠点となり、地域をつなぐ「歩きたくなるまち」を目指して、緑豊かで活気のある駅前環境の再生を行います。

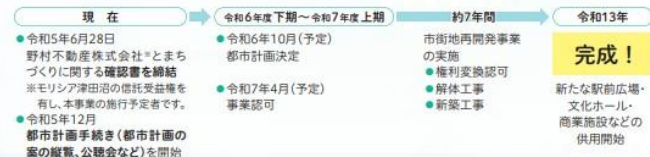
■どんなまちになるの? ~開発整備の4つの方針~

- 立体的な都市基盤整備による交通結節機能の強化と駅前の顔づくり
- 駅へのアクセシビリティやまちなかの回遊性を高める歩行者ネットワークの整備
- 駅前の魅力を高めるオープンスペースの整備、周辺地域と連携した緑のネットワークの形成
- 文化とにぎわいの拠点形成と定住人口増加に資する都市機能の導入

市街地再開発事業とは?

都市再開発法に基づき、古くなったまちや建物を再び新しい時代に合った形に作り直します。公共施設の整備やオープンスペースの確保により快適で安全なまちをつくることに、都市の持つさまざまな機能(交通・商業・行政・文化など)を新しくすることで魅力あるまちづくりを行います。習志野市では初めての取り組みです。

■事業スケジュール



■市の役割は?

市では、施行予定者(野村不動産株式会社)と協議しながら、都市計画手続きや、県の事業認可に向けた各種手続きを行います。また、駅前広場の再整備や習志野文化ホールの再建設に向けた設計・施工などについての協議を行います。市の費用負担は、駅前広場などの公共施設整備費と、習志野文化ホール取得費などを想定しています。

現在の津田沼駅南口地区(約3.4ヘクタール)



● 屋上広場 (5階)

商業施設の屋上には、約4,000㎡の広場を整備し、緑豊かな憩いの空間を創出します。

● 外周通路 (2階)

再開発施設の2階外周を一周できる歩行者デッキを整備し、妻の杜地区や隣接する駐輪場(JR津田沼駅南口第二自転車等駐車場)との連絡が可能になります。あわせて、エレベーターやエスカレーター等を整備し、バリアフリー化を図ります。

● 駅前広場 (1階) と駅前広場デッキ (2階)

利用しやすい駅前広場を目指し、路線バス乗降場の増加、一般車の乗降場の整備などを行います。駅前広場上部には、イベント広場などの交流空間を確保した約2,500㎡のペDESTリアンデッキを整備します。これまで通り道でしかなかったデッキが、足をためて休憩したり、交流を深めたりする空間に生まれ変わり、南口エリアの新たなにぎわいの拠点になることを目指します。

● 商業施設 (B1~4階)

習志野市の中心市街地にふさわしい集客力の高い商業施設が整備されます。

● 習志野文化ホール (5~9階)

老朽化のため、令和5年4月1日から長期休憩となった文化ホールを再建設します。これまで同ホールが果たしてきた本市の文化芸術活動の質の向上などの役割や実績を踏まえ、新たなホールは昔の響きを重視した「音楽のまち習志野」を象徴する多目的ホールとします。

● 公益施設など

現在のJR津田沼駅南口連絡所の機能などを確保します。

● 展示・会議等会場(民設ホール)

展示や会議などに利用できる現モリスシアホールの機能を継続します。

● 住宅 (50階程度)

高層マンションの建設が予定されています。規模については教育施設への影響などを考慮しながら、協議します。

● 企業バス乗降場・駐輪場 (1階)

企業の従業員用バスの乗降場を整備し、駅前周辺の道路環境の向上を目指します。また、現在の津田沼公園内にある一時利用駐輪場(JR津田沼駅南口自転車等駐車場)に替わる駐輪場を再開発施設内に整備します。

津田沼駅南口地区完成予想図 (令和5年11月時点)
※プランは計画中のものであり、今後変更する可能性があります。

現在の取り組み内容は、市ホームページに掲載しています。 [市ホームページへ](#)
習志野市 市街地再開発事業 [検索](#)

活動報告

Report 関根ひろゆき



公式LINE

Instagram

ホームページ

PROFILE

関根洋幸 (せきね ひろゆき)
1986年7月13日生まれ
谷津保健病院にて出生
習志野市立谷津幼稚園卒園
習志野市立谷津小学校卒業
習志野市立第一中学校卒業
習志野市立習志野高等学校卒業
亜細亜大学法学部法律学科卒業
Western Washington University留学
参議院議員事務所勤務
千葉県議会議員事務所勤務
衆議院小林鷹之公設秘書として勤務
2015年習志野市議会議員初当選
2019年二期目の当選
2023年三期目の当選
発行: 関根ひろゆき後援会
習志野市谷津5-29-6
☎ & 📠 : 047-779-4092



討議資料